

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html にてご確認ください。

Room	H (共北25)	I (共北26)	J (共北27)	K (共北28)	L (共北31)	M (共北32)	N (共北37)	Q (共北38)
Time	行動	保全 / Conservation	進化	動物と植物の相互関係 / Animal-plant interaction	生態系管理 / Ecosystem management	生物多様性 / Biodiversity	群落 / Plant community	植物生理生態 / Plant ecophysiology
15:00	H01-01 ミナミコメツキガニ集団逃避行動の定量解析 上杉 佑人 (東京大学)	I01-01 Evaluating Climate Risk Pathways for Pacific Bluefin Tuna (<i>Thunnus orientalis</i>) Using Habitat and Trait-Based Metrics in the North Pacific Ocean Matthew DURANT (Tohoku Univ.)	J01-01 小笠原諸島のヒメカタゾウムシ類の遺伝子解析－新たな“反復適応放散”的可能性－ 対部 治紀 (神奈川県立博物館)	K01-01 How is floral scent adapted to attract specific pollinators of <i>Asarum</i> sect. <i>Heterotropa</i> ? Anna Kamenova VALCHANOVA (東大・理)	L01-01 Assessment of UAV-LiDAR-based methods for individual tree segmentation: Case studies from northern forests of Japan Kyaw Kyaw HTOO (Hokkaido University)	M01-01 Response diversity and stability in experimental floating macrophyte assemblages using automated image classification Samuel Robert Peter-James ROSS (OIST)	N01-01 歴史の古い草原の根系が表層崩壊防止機能に与える影響－多地点解析－ 寺嶋 悠人 (筑波大学・山岳セ)	Q01-01 深層学習を用いた画像解析で得られたヒノキ細根の月別変化量とその決定要因の検討 吉田 陽向 (名古屋大学)
15:15	H01-02 自由遊泳するアカウミガメの潜水初期における心拍数の一時的な低下 青田 幸大 (東京大学)	I01-02 Systematic mapping of direct anthropogenic pressures on terrestrial biodiversity Cathleen Ludivine PETIT (CESAB - FRB, Kyoto University)	J01-02 単為生殖ナナフシにおける稀なオスは進化的な意味を持つのか? 野崎 友成 (基礎生物学研究所, 総合研究大学)	K01-02 Between Birch and Berries: Dietary Niche Partitioning Between Sympatric Alpine Herbivore Birds Saria SATO BAJRACHARYA (Nord University)	L01-02 Environmental Determinants of Stream Nitrate Concentrations in Undisturbed Mountain Streams of Kyushu Main Island Nay Lin MAUNG (Kyoto University)	M01-02 On the survey of poultry lice (Insecta: Phthiraptera) fauna in Taiwan since Sugimoto Masaatsu Chao-jung LIANG (Department of Entomology, National Taiwan Univ.)	N01-02 中国地方の小規模湿原における植生と環境条件の関係－唐川湿原を例として－ 久保田 憲 (鳥取大学・院・連農)	Q01-02 Leaves as an internal phosphorus source for reproduction in Japanese beech 辻井 悠希 (森林総研)
15:30	H01-03 ハヤブサの高速空中戦における機動力および攻撃力の両立 メカニズム 菊地 デイル万次郎 (東京農業大学)	I01-03 絶滅危惧種ニホンザリガニの過去約20年間の局所絶滅に関する定量的評価 賈イ (北海道大学)	J01-03 羽化時刻分布の雌雄差がオスの二型を進化させる 久保 日嵩 (北海道大学)	K01-03 Pigeon-fruit interactions: A global overview 安藤 温子 (NIES)	L01-03 Modeling Stand Growth in South Korea Using a Diameter Class-Based Approach Jae-ah LEE (Korea University)	M01-03 Mapping functional diversity and redundancy in bumblebees using species distribution models and kernel density hypervolumes Megan mei yan LOW (Tohoku Univ.)	N01-03 日本の異なる森林タイプにおける機能形質の垂直変化と地 上部バイオマス動態との関係 勒格ル (大阪公立大学)	Q01-03 Directional asymmetry of epigenetic memory and adaptive reprogramming in mangrove trees under changing salinity Matin MIRYEGANEH (OIST)
15:45	H01-04 ホンヤドカリとテナガツノヤドカリの対照的な対捕食者反応:驚動反応時間の解析より 古賀 庸憲 (和歌山大学)	I01-04 The Feedback Loop of the Extinction of Experience: Evidence from Parents and Children's Nature Experiences in Vietnam. Van Mai TRUONG (Hiroshima University)	J01-04 ショウジョウバエにおける訪花性の進化をもたらす色選好性と視覚システムの適応 桂 宗広 (名古屋大学)	K01-04 密接な送粉共生系の地理的モザイクを利用したイワボタン列の花形質多様化要因の解明 山口 万里花 (東京大学)	L01-04 ネイチャー・ポジティブ活動の手引き: ランドスケープアプローチ 織嶋 涉 (アミタHD)	M01-04 新開発の耐候性変動コメ品種へのアクセスをめぐる利点と 課題: アジアのコメを事例に 今井 健一 (大阪経済法科大学)	N01-04 降水量がカリフォルニア一年生植物の適応度および競争・ 共存に及ぼす影響 Kenji HAYASHI (ライス大学)	Q01-04 Effects of enhanced seasonal precipitation on gas exchange of <i>Pinus densiflora</i> seedlings Hee-eun YOON (Korea Univ.)
16:00	H01-05 機械学習モデル搭載ビデオによるアカウミガメの野生下における採餌行動の選択的撮影 石山 遥香 (東京大学)	I01-05 Biodiversity in abandoned oil palm plantation: how much did dung beetle diversity recover after 15-year abandonment? Arief aiman BIN LUKMAN (Hiroshima University)	J01-05 北海道のエゾシジグロシロチョウとヤマトシジグロシロチョウは異なる種なのか? 大秦 正揚 (京都先端科学大学)	K01-05 植物間コミュニケーションの代償:ストレス下での抵抗性向上と成長抑制 村山 栄 (新潟大学・院・自然)	L01-05 湿原再生は学びの場となりうるか: 中高生による歌才湿原での伐採活動とその経過 露崎 伸朗 (北海道大学)	M01-05 進化的キーストーン種の定量 大室 宏平 (東北大大学院)	N01-05 Warming and nitrogen deposition led to contrast response of fine-root traits to neighbor species 孫 麗娟 (蘭州大学)	Q01-05 Effects of Neighbor Identity on Time-Series Biomass Allocation in <i>Arabidopsis thaliana</i> Bo-moon KIM (Kyoto University)
16:15	H01-06 大阪府淀川におけるバットディテクターを用いたヒナコウモリの季節消長と時空間分布 松浦 健斗 (大阪産業大学大学院)	I01-06 北極のゼニガタアザラシの採餌行動と休息行動 石原 有乃 (総合研究大学院大学)	J01-06 ハクサンハタザオにおける自家不和合性遺伝子の進化動態と自殖シンドローム 須田 峻 (東京大学)	K01-06 (1) 付着量だけでは不十分: 群集レベルでの付着種子散布の量的貢献を評価する 佐藤 華音 (滋賀県立琵琶湖博物館, 東京農工大学)	L01-06 伊吹山頂草原植物群落(天然記念物)のニホンジカ影響下10年の変化 野間 直彦 (滋賀県立大学, 近江ウエットランド研)	M01-06 大気環境DNAによる陸上生物多様性モニタリング 内井 喜美子 (大阪大谷大)	N01-06 Influence of <i>Cryptomeria japonica</i> dominance on functional diversity and resistance to disturbances in natural and plantation forests Rebecca OSTERTAG (Univ. of Hawaii at Hilo)	Q01-06 樹木成長とともに増加する力学的負荷は呼吸増加を促し成長制限要因となるか 森 茂太 (山形大学)
16:30	H01-07 攻撃性の個体間での非対称性が集団レベルの摂食と生存に及ぼす影響 戸高 倫太郎 (千葉大・院・融)	I01-07 アジアにおける絶滅危惧猛禽類の比較ゲノミクス 内藤 アンクレート 素 (京都府立動物園, ARRCN)	J01-07 雌雄異株植物オニドコロにおける性決定候補遺伝子の同定 工藤 葵 (京都大学)	K01-07 下関市朝生地区におけるシイの豊凶とイノシシの行動に関する研究 柳井 風花 (山口大学)	L01-07 里山林床における下草刈りによる生態系の多機能性への影響 Ziyan CHEN (横浜国立大学)	M01-07 リモートセンシングを活用したTNFD対応のための自然資本調達評価手法の検討 若月 優姫 (国際航業株式会社)	N01-07 Acute impact of wildfire on tree communities in a seasonally dry tropical forest, northwestern Madagascar Ando Harilalao RAKOTOMAMONJY (Kyoto University)	Q01-07 北海道冷温帶性落葉広葉樹40種の40年の展葉・落葉フェノロジー変化とその種間差 鈴木 智之 (北海道大学・FSC)
16:45	H01-08 磁場攪乱装置を装着した亜成体アカウミガメの行動応答を通じた磁場感覚の評価 石井 理人 (東京大学, 大気海洋研究所)	I01-08 太陽光発電と風力発電の統合型発電施設における鳥類への複合影響の解明 茨田 匡 (東京都市大学)	J01-08 オヤマノエンドウ-根粒菌共生系の系統地理学的解析と共生能の評価 西川 いぶき (信州大学)	K01-08 高山植物ウスユキトウヒレンの繁殖形質と種子食害の関係 鈴木 晃音 (北海道大学)	L01-08 高層湿地における踏圧がヒメミズゴケの炭素蓄積機能に及ぼす影響 吉村 謙一 (山形大学)	M01-08 分子同定のための新しい塩基配列類似性検索法 田辺 昌史 (東北大・院・生命科学)	N01-08 Trees on the move: how climate change affects the functional species composition of forests in Japan Lea VEGH (NIES)	Q01-08 ストレス環境の違いがブナ黄葉の色づきの強さとクロロフィル量の関係を左右する 小出 大 (国立環境研究所)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html にてご確認ください。

Room	H (共北25)	I (共北26)	J (共北27)	K (共北28)	L (共北31)	M (共北32)	N (共北37)	Q (共北38)
Time	行動	保全	進化	動物と植物の相互関係	生態系管理	生物多様性	Plant community	植物生理生態
17:15	H01-09 一時的社会寄生性ケアリによる寄主ワーカーに対する母殺教唆 高須賀 圭三(九州大学)	I01-09 野尻湖における水草分布と魚類群集構造からみた魚類への影響評価 立川 優芽(富山大学)	J01-09 盗葉緑体の獲得に至る進化動態 内海 邑(日本大学)	K01-09 ブナ科コジイの繁殖量の年変動は種子捕食者にどのように影響するか? 平山 貴美子(京都府立大学)	L01-09 ディープラーニングを活用した植生タイプ識別の応用事例 伊勢 武史(京都大学)	M01-09 ロングリードによる飼育水eDNA由来ミトグノム全長のPCRフリー回収と多型検出 水野 ひなの((株)豊田中央研究所)	N01-09 Decomposing leaf mass into metabolic and structural components explains divergent patterns of trait variation within and among plant species 片渕 正紀(XTBG, CAS)	Q01-09 日射スペクトルの日変動と気象条件の関係が植物応答に及ぼす影響の検討 久米 篤(九州大学)
17:30	H01-10 協同繁殖魚の親がサボるヘルパーを罰するかどうかは群れサイズや個体間の近さで決まる 日高 諒(大阪公大・院・理)	I01-10 水草の土壤シードバンクを自然再生で回復させる「マネジメント手法の提案に向けて」 藤居 隆之介(東京大学)	J01-10 スローライフの進化:生活史進化の基本原理の拡張 佐々木 顯(総合研究大学院大学)	K01-10 家畜生産に最適な放牧戦略は植生帯により変化するが降水量では変化しない 吉原 佑(三重大学)	L01-10 流域-海岸連環に基づく砂浜・砂丘の侵食要因の統合解析 中田 康隆(京都府立大学大学院)	M01-10 環境DNAを用いた木本植物上の動物群集調査手法の比較と評価 米谷 衣代(近畿大学)	N01-10 A field experiment on the coexistence of two plant species under resource competition and reproductive interference 篠原 直登(OIST, 京都大学)	Q01-10 サクラソウ実生の光合成・生長特性-栽培実験に基づいた検証 石川 真一(群馬大学情報学部)
17:45	H01-11 宿主イソギンチャクの密度が異なるクマノミ個体群間での社会構造と個体間関係の比較 小林 優也(大阪公立大学大学院)	I01-11 選択的草刈による在来種草本保全の試み 飯島 明子(神田外語大学)	J01-11 熱帯樹木における個体内進化:数理モデルを用いた体細胞変異の蓄積動態の推定 富本 創(九州大学)	K01-11 2タイプの雄しふの機能とその背景 横山 碧(奈良女子大学)	L01-11 放牧の空間パターンによる節足動物相の変化とそのメカニズム 王 一勉(横浜国立大学)	M01-11 人工樹洞とeDNA解析で解き明かす熱帯林水棲動物群集の鉛直・時間的変動 井坂 友一(西双版納熱帯植物園)	N01-11 A preliminary assessment of phytochemical diversity across Okinawa's landscape Amy Hana MORRELL(OIST Graduate School)	Q01-11 小笠原諸島の亜熱帯低木2種における光合成・蒸散・道管流速と根の呼吸速度の日変化 岸上 奈希(都留文科大学)
18:00	H01-12 同調行動の個体差が駆動する集団特性 浜道 凱也(千葉大・院・融)	I01-12 日本沿岸における小型鯨類の分布:環境アセスメントデータを用いたベースライン解析 木村 里子(京都大学)	J01-12 イトヨの海洋型と河川型における高脂肪食に対する内臓脂肪蓄積の反応の違い 陳 柏君(総合研究大学院大学, 国立遺伝学研究所)	K01-12 植物の匂いコミュニケーション—遺伝か環境か? 塩尻 かおり(龍谷大学)	L01-12 豪雨の多発は貧酸素海域の底生動物にどう作用する?~二枚貝の事例~ 折田 亮(佐賀大・農)	M01-12 カンボジア熱帯季節林に見られるTerminalia alataの生態的異型の遺伝子解析 菊地 賢(森林総合研究所)	N01-12 Compare Species Diversity and Community Assembly Processes with Different Regions of Montane Cloud Forests in Taiwan Yan-han WU(National Taiwan University)	Q01-12 鉱山跡地で生育するトマツの内生菌が関与した鉄耐性機構の解明 春間 俊克(森林総合研究所)
18:15	H01-13 アリの運搬での脚運動の重さへの適応:空中超音波フェーズドアレイによる非接触介入 久本 嶽平(明治大学)	I01-13 生態毒性試験は個体群レベルでの化学物質リスクを捉えているのか 都築 洋一(東京大学)	J01-13 Seasonal hourglass in plant transcriptome and epigenome dynamics 西尾 治幾(滋賀大学, 京都大学)	K01-13 二種の植食者による被食がイラクサの刺毛長に及ぼす影響:採食模擬実験による検討 加藤 稔孝(奈良教育大学)	L01-13 東京湾の底生生物群集の20年前と現在 高田 宜武(水産機構水技研)	M01-13 熱帯昆虫多様性は本当に危機にあるのか?タイ南部の長期観測から探る 中村 彰宏(西双版納熱帯植物園)	N01-13 Assessing Mass Elevation Effect Across Taiwan's Mountainous Landscapes Yuwen CHEN(National Taiwan Univ.)	Q01-13 日光火山群に生育するコウシンソウの栄養獲得戦略:食虫機能における微生物の役割 鈴木 康太(神奈川大学)
18:30	H01-14 ハンドウイルカの音声交換にみられる発音重複の成立機構の解明 寺田 知功(東京大学)	I01-14 山口県に生息する二ホンヤマネ <i>Glilurus japonicus</i> の冬季の活動 大宇根 海人(山口大学)	J01-14 Shifting mycorrhizal partner from <i>Tulasnella</i> to <i>Ceratobasidium</i> is coupled with the gain of crassulacean acid metabolism (CAM) in epiphytic orchids Galih Cherys PUJASATRIA(Kyoto University)	K01-14 イチジク属とイチジクコバチ絶対送粉共生系における共送粉と「1対1」の再構築 蘇 智慧(JT生命誌研究館, 九州大学)	L01-14 鉱山周辺の河川における降雨に伴う重金属濃度の時間変動と水質環境基準の超過 藤田 優里(東洋大学大学院)	M01-14 <i>Bosmina tanaka</i> は北方系?日本縦断分布状況と同属普通種との共存 大竹 裕里(京都大学)	N01-14 Changes in bryophyte community composition and functional traits along a fog frequency gradient in montane cloud forest of Taiwan Ching-ning YEH(National Taiwan University)	Q01-14 広葉樹におけるBVOC放出と熱放散(DPS)による独立した光防御戦略 辻 祥子(京都大学)
18:45	H01-15 ナカスジハリアリの繁殖行動と近縁種との分布パターン 井上 哉太(東京農工大学)	I01-15 高水温による冷水性魚類ワカサギの代謝速度増加と霞ヶ浦における記録的不漁との関連 松崎 慎一郎(国立環境研究所)	J01-15 Inferring Phylogenetic Networks in the Genomic Era Sungsik KONG(RIKEN iTHEMS)	K01-15 クワズイモ(サトイモ科)果序内の渗出液のmicrobiomeの組成 高野(竹中)宏平(長野県環保研)	L01-15 複数回測定値を用いたAIによる魚体長推定値のバイアスおよび分散の補正方法の開発 柴田 泰亩(水産研究・教育機構)	M01-15 卵と耳石から考えるクサウ才科魚類の生存戦略 亀井 遥香(東京大学)		
19:00	H01-16 縄張り行動に関連した墨吐き:イカ墨の新たな転用例 細野 将汰(東京大学)	I01-16 オオコウモリゲノムの遺伝的多様性 佐藤 悠(京都大学野生動物)	J01-16 Mechanisms of speciation vary with latitude Jose Said GUTIERREZ-ORTEGA(RIKEN iTHEMS)	K01-16 都市-里山環境傾度の花形質の変化が植物-送粉者群集に及ぼす影響:花色組成に着目して 中田 泰地(九州大学, 神戸大学)	L01-16 ヒグマの年齢を『糞』から読み解く~DNAメチル化レベルに基づく新規手法の確立~ 中村 汐里(北大・獣医)			

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html にてご確認ください。

Room	H (共北25)	I (共北26)	J (共北27)	K (共北28)	L (共北31)	M (共北32)	N (共北37)	Q (共北38)
Time	Material cycling	保全	菌類・微生物 / Fungi and microbes	Animal population	行動	外来種	進化	動物群集
14:00	H02-01 Effect of litter on silicon cycling in a forest ecosystem - insight from a litter manipulation experiment Ryosuke NAKAMURA (Kyoto University)	I02-01 ハザードが示す生態学: 浸水継続時間によるコイ科産卵適地推定 池上 真木彦 (国立環境研究所)	J02-01 大気と水環境DNAを用いた二次林における菌類多様性の年次および季節変動 前田 拓人 (大阪産業大学)	K02-01 Estimating the duration of conspecific avoidance from GPS tracks could help characterize population-environment relationships: a macaque pilot study Guillaume Pierre michel PERON (LBBE/CNRS (France))	L02-01 不完全な性認識がチョウの行動を規定する 竹内 剛 (大阪公立大学)	M02-01 島間比較で明らかとなつた伊豆諸島の国内外来種アズマヒキガエルの生態的特性の違い 馬籠 優輔 (筑波大学)	N02-01 島嶼が大陸集団の動態に果たす役割:シマクainaにおける集団ゲノミクスによる検証 青木 大輔 (森林総研)	Q02-01 群集データから直接的種間関係を同定する:グラフィカルモデルとペイズ推定の統合 川津 一隆 (横浜国立大学)
14:15	H02-02 Latitudinal pattern of photodegradation driving aboveground carbon loss Juanjuan ZHANG (IAE,UCAS)	I02-02 半自然草原の制度的位置づけの分析とOECMの適用可能性 野田 順 (東京都立大学)	J02-02 花の雌雄差と花蜜内微生物群集;生育地と年による違い 柴田 奈穂 (神戸大学)	K02-02 Examination of amphidromous fish abundance patterns relative to local and regional factors in a river network using environmental DNA 宮園 誠二 (山口大学)	L02-02 ハンミョウの交尾をめぐる雌雄の攻防:メスの入水は交尾延長を回避する戦術か? 篠原 忠 (石川県ふれあい昆虫館)	M02-02 魚の少ない環境でのコクチバスの食性 遠藤 順太 (富山大学)	N02-02 鳥類の翼筋肉とその操縦性:種間比較の視点から 蓑島 あすか (千葉大・院・融)	Q02-02 Stochasticityの影響を軽減した生態系の状態評価法の提案 石田 拳 (海洋研究開発機構)
14:30	H02-03 Photodegradation of aquatic plant litter in shallow lakes Jin GAO (IAE,UCAS,Nanjing Normal Univ)	I02-03 雨飾山北斜面におけるマメシジミ類の現状と保全上の課題 山本 聰子 (上越環境科学センター)	J02-03 有害赤潮藻類間の増殖相互作用と水温の影響 矢野 誠子 (水産技術研究所)	K02-03 Effects of environmental variability on the temporal Taylor's law of Hokkaido vole density 齊藤 隆 (北海道大学)	L02-03 野生寄主植物で異なるイモゾウムシの繁殖形質 日室 千尋 (岐阜大学)	M02-03 外来種モンシロチョウ・アカボシゴマダラの侵入成功要因:近縁在来種を上回る比成長率 今野 浩太郎 (農研機構生物研)	N02-03 非対称な気候応答に基づく祖先ニッチの再構築:マカク属(<i>Macaca</i>)の事例研究 高根 太朗 (東北大学)	Q02-03 表面微地形による外来種・在来種フジツボの加入ニッチおよび個体群動態への影響 姚 遠 (北海道大学)
14:45	H02-04 Spatiotemporal responses of nutrient and phosphorus stoichiometric imbalance in Japanese lakes and estuaries to wastewater treatment (1998-2022) 周 川喬 (京都大学)	I02-04 古代湖、琵琶湖での環境負荷による食物網への影響:堆積物記録に基づく評価 榎木 玲美 (松山大学)	J02-04 花蜜内微生物がソバの結実に与える状況依存的な影響 岡田 悠雅 (神戸大学)	K02-04 漁業と気候変動によるマサバ資源の突発的かつ不可逆的な崩壊 西嶋 翔太 (水産機構・水産資源研,UCサンタクルーズ)	L02-04 コウモリによるミソサザイの巣利用 小山 里奈 (京都大学)	M02-04 海洋外来種に関する英語文献と日本語文献の知見の比較 Conrad James PRATT (University of Queensland,東京農工大学)	N02-04 全ゲノムデータからみたニホンノシシ・リュウキュウノシシの遺伝的関係 糸井 梨香子 (総合研究大学院大学)	Q02-04 湧水河川の淡水魚類における在来群集から国内外来群集への急激なシフト 福家 悠介 (摂南大学)
15:00	H02-05 Lignin structure regulates terrestrial photodegradation processes and carbon release Jiaojiao DENG (IAE)	I02-05 小笠原諸島媒島における土壤節足動物群集の特性とその保全的価値 岸本 年郎 (ふじのくに環境史)	J02-05 内生菌 <i>Pezicula ericae</i> が産生するisoavenaciolの化学的機能 土山 紘平 (筑波大学・生命環境)	K02-05 A mathematical analysis of the evolutionary dynamics of mimicry rings incorporating predator associative learning 楊 霽 (京都大学)	L02-05 都市近郊の孤立した二次林環境に生息するタヌキの採食植物種と果実分布量との関連 林 翔太 (東京農業大学大学院)	M02-05 高知県における外海産魚タイリクスズキと在来魚スズキとの交雑 豊澤 拓海 (京都大学)	N02-05 イトヨの染色体融合に伴うテロメアとセントロメアの進化 山崎 曜 (国立遺伝学研究所)	Q02-05 画像解析による魚類群集の高頻度観測 石川 昂汰 (東北大, WPI-AIMEC)
15:15	H02-06 異なる環境条件における異なる機能群の葉群の最適炭素・窒素動態モデル 城崎 菜乃 (東北大)	I02-06 北海道東部の防風林景観において絶滅危惧種ゴマシジミはメタ個体群を形成している 榎原 正宗 (兵庫県立大学)	J02-06 Bacterial and fungal communities in tidal Mangrove sediments: impact of tidal zone, plant litter and decomposition time. Juha ALATALO (Qatar University)	K02-06 Impacts of urbanization on personality and thermal physiological traits in Japanese five-lined skink (<i>Plestiodon japonicus</i>). Alexia DEGUARA (Kyoto Univ.)	L02-06 時間経過と採餌エリアの違いは海鳥の採餌場所忠実度にどのような影響を与えるのか? 片岡 幸大 (名古屋大学)	M02-06 外来社会性昆虫の侵入・分散が加速する中での防除技術開発の高度化 坂本 洋典 (国立環境研究所)	N02-06 血縁情報に基づく局所個体群の個体数および個体群間移住率推定—希少魚アカメでの試行 岸田 岳大 (京都大)	Q02-06 伊勢湾の内湾生物群集構造の変化とジンドウイカ類の生態履歴復元手法の検討 阿波 望 (水産研究・教育機構)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html にてご確認ください。

Room	H (共北25)	I (共北26)	J (共北27)	K (共北28)	L (共北31)	M (共北32)	N (共北37)	Q (共北38)
Time	Material cycling	保全	Fungi and microbes	Animal population	Behavior	外来種	動物生活史	動物群集
15:30	H02-07 Exploring Soil Microbial and Environmental Drivers of Carbon Emissions in Korean Temperate Forests Amna SAHER (Korea Univ.)	I02-07 絶滅危惧種昆虫タイワンツバメシジミの保全を可能とするスギ人工林の新しい下刈り方法 西脇 亜也 (元宮崎大学)	J02-07 Scale- and tax-dependent response of soil bacterial communities to environmental factors across Chinese natural forests 姜 琳子 (中科院大気所)	K02-07 Automated Behavioral analysis of cricket aggression through Deep-learning Deepak Ishwara SHIVAPRAKASH (RCIES, SOKENDAI)	L02-07 翅の食い合いがペアの生存に及ぼす影響:ついに解明されるか、謎の配偶行動 大崎 還花 (人と自然の博物館)	M02-07 利根川水系におけるチャネルキャットフィッシュの景観レベルでの環境利用 仁部 駿介 (東洋大学)	N02-07 八重山諸島に生息するニオイガエル属の食性 戸金 大 (慶應大学)	Q02-07 日本列島の森林性糞虫の群集構造特性とその規定要因 岸本 圭子 (龍谷大学)
15:45		I02-08 水田の湛水開始時期がサギ類の採餌環境を左右する:衛星画像による季節変化の解析 安野 翔 (埼玉県環科国セ)	J02-08 Forest Age and Environmental Stress Shape Microbial Assembly in Afforested and Reforested Arid Mangrove Ecosystems Alsayedza zahra Jawad SALMAN (Kyoto Univ.)	動物と植物の相互関係 K02-08 種子散布者の糞がもたらす共生の好適な微生物環境 井上 輝紀 (京都大学)	L02-08 採餌に失敗したアドリーベンギンは社会的情報を利用して採餌場所を選択する 今木 俊貴 (総合研究大学院大学)	M02-08 奄美大島の湯湾岳周辺地域の路傍における外来植物の分布特性 坂元 小梅 (鹿児島大学)	N02-08 河川の小空間スケールにおけるオオサンショウウオの生息場特性 松田 裕太 (兵庫県立大学)	Q02-08 捕食者は物理構造の効果を増幅させるか?—樹洞内水生昆虫群集での検証 — 新川 鳩輝 (東京農工大学)
16:00		I02-09 Multidimensional tropical forest recovery across socio-ecological systems 松尾 智成 (ワーヘンギン大学)	J02-09 Temporal dynamics of leaf-associated fungal assemblage and function over 30 years in a temperate forest CHANGSALAK Punnat (千葉大・理)	K02-09 ニホンジカの特定外来生物オオハングンソウに対する摂食嗜好性 釜井 菜央花 (宇都宮大学)	L02-09 Fidelity in space use of territorial ungulate, Japanese serow (<i>Capricornis crispus</i>) across seasons. Kushaal SELVARAJAH (TUAT)	M02-09 トラップネットワークを用いた侵入害虫根絶確認法—セグロウリミバエを例として— 本間 淳 (沖縄県病害虫防技セ)	N02-09 2024-2025年の八ヶ岳東麓におけるキシャヤステ群遊パターンの時間的空間的な変動 清野 達之 (筑波大学八ヶ岳演習林)	Q02-09 亜熱帯二次林における地形と階層構造に対する甲虫群集の反応 代島 泰地 (東京農工大学)
16:15		I02-10 大規模森林火災後の更新は栄養繁殖に由来するか:大船渡スギ人工林の例 小山 明日香 (森林総研)	J02-10 Isolation and functional characterization of root-associated bacteria from a desert shrub <i>Encelia farinosa</i> Mohamed Mutasim ELTAYEB (Tottori Univ., Khartoum Univ.)	K02-10 熱波様の短期的な高温環境は、マルハナバチの学習を含む採餌行動に影響を与えるか? 田附 優実 (奈良女子大学)	L02-10 Anti-predator communication networks in mixed-species flocks Nora CARLSON (The University of Tokyo)	M02-10 サイズ構造行列個体群モデルを生存、繁殖、成長に分解して再構築する方法 松田 裕之 (横浜国立大学)	N02-10 カタクチイワシ仔魚における成長と形態発達の個体間変異が摂餌特性に及ぼす影響 田中 翔大 (東大院農)	Q02-10 住民アンケートを用いた兵庫県内都市周辺の哺乳類分布の経年変化 栗山 武夫 (兵庫県立大学, 兵庫県森林動物研究セ)
16:30		I02-11 ハナノキ林の更新現場を捉える:ハナノキの起源を求めて 広木 詔三 (名古屋大学)		K02-11 クマバチ類の盗蜜が植物の送粉成功に及ぼす影響 笠野 晃司 (近畿大学院農学研究科)	L02-11 データロガーによるクロボシウミヘビの潜水行動の解明 藤島 幹汰 (東京都)	M02-11 陸域生態系シミュレーションにおける可視化の役割と課題 佐藤 永 (海洋研究開発機構, 東京大学)	N02-11 <i>Tetrasticta laeta</i> (コウチュウ目:ハネカクシ科)の飼育と基礎生態 金尾 太輔 (山形大学)	Q02-11 神奈川県相模原市の市街地における鳥類群集の構造と景観要素 増田 侑太朗 (東京都立大学)
16:45				K02-12 送粉者の訪花頻度が低いギンリョウソウはどのように受粉効率を高めているのか? 楠 友実 (東京農業大学大院)	L02-12 The landscape of fear in Japan: Assessing the non-consumptive effects of bears on large herbivores Everton Bernardo pereira de MIRANDA (macreology lab, Tohoku Uni)	M02-12 個体群成長率を超えて:ランダムデザイン生命表反応解析と流れ行列の統合 横溝 裕行 (国立環境研究所)	N02-12 ミジンコ休眠卵生産におけるセラミド代謝関連遺伝子の機能解析 丸岡 奈津美 (宇都宮大学)	Q02-12 羽標本の安定同位体分析から探る沖縄島の鳥類の食性 武山 智博 (岡山理科大学)

*講演者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/73/oral_index.html> にてご確認ください。

Room	F (国際講義室32)	G (共南11)	H (共北25)	I (共北26)	J (共北27)	K (共北28)	L (共北31)	M (共北32)
Time	S 延長された表現型	S 人と自然 / Human Dimension	S 野生生物の持続可能な利用、取引、採取・捕獲	動物繁殖	Plant reproduction	動物個体群	数理 / Mathematical ecology	Landscape ecology
12:00	F03-01 複雑な生活環を持つ複数の寄生虫は、宿主操作の競合下でいつ共存できるのか? 仲澤 剛史(国立成功大学)		H03-00 仔稚魚期に速く育ったサバは小型の成魚になっていた 中村 政裕(水産研究・教育機構)					
12:15								
13:00		G03-01 生物観察アプリデータを使って観光客が目当てとするご当地名物の種を探る 渥美 圭佑(株式会社バイオーム,京都産業大学)						
13:15		G03-02 なじみの自然を失うとき:生態学的悲嘆が促す保全行動 若山 茉央(東京大学)						
13:30		G03-03 希少種の宝庫 東海丘陵の湿地が育む生物文化多様性:人と自然とのつながりに着目して 佐伯 いく代(大阪大学)						
		S 人と自然 / Human Dimension	植物個体群	動物繁殖	Plant reproduction	動物個体群	数理 / Mathematical ecology	Landscape ecology
14:00		G03-04 Comparative analysis of soil prokaryotic community structure and function in Ethiopian native Church Forests and adjacent habitats Biazen Endalamaw MEKONEN (UGASAS, Tottori Univ., ARARI)	H03-01 ブナ帯に位置する小規模地沼における植物相に関する研究 山岸 洋貴(弘前大学)	I03-01 ずっと見るこまめに見る:鳥類の巣箱観察のためのタイムラプスカメラシステムの開発 武田 和也(山梨県富士山研)	J03-01 Dioecy in a wind-pollinated herb explained by disruptive selection on sex allocation via inbreeding avoidance Kai-hsui CHEN (University of Tokyo, University of Lausanne)	K03-01 サンショウウオ属における形態可塑性の種間比較 福山 伊吹(北海道大学)	L03-01 Counterintuitive pathogen dynamics: The pathogen resurgence under hyperparasitism Guan-yu CHEN (National Taiwan University)	M03-01 Komado Wetland, past crop activities, and current ecosystem disturbances Dahedrey PAYANDI-ROLLAND(東京都立大学)
14:15		G03-05 Impacts of polyacrylamide application on soil loss, soil properties and plant growth Yoseph Buta HAILU (Tottori University, Debre Markos University)	H03-02 ホオノキに確認された集散花序とその機能 高橋 和規(森林総研関西支所)	I03-02 ケリ(チドリ科)幼鳥の自立過程にみられる同種の群れの影響 脇坂 英弥(関西ケリ研究会)	J03-02 Decoding mast seeding: Seasonal gene expression revealed new molecular pathways to understand forest tree reproduction Valentin JOURNE (Kyushu University)	K03-02 温暖化に伴う性比の偏りは北太平洋アカウミガメ個体群の絶滅危惧要因として重要か 加藤 瞳子(東京大学)	L03-02 平均値・中央値の差の検定をどう行うべきか:ノンパラメトリック検定の使いどころ 粕谷 英一(大阪公立大学)	M03-02 Depth-dependent energetic properties of organic matter: linking chemical composition to energy release feasibility and quality in mountain soils Wenting FENG (Beijing Forestry University)
14:30		G03-06 Data-Informed Exploration of a Social-Ecological Network Model for Sustainable Agricultural Practices under Various NGO Engagements Dai-Fang LIN (National Taiwan University)	H03-03 垂直位置の違いがヤエヤマオオタニワタリの種内形質変異に及ぼす影響 丸山 夏鈴(東京農工大学)	I03-03 おっぱいの数と子どもの数:ルールに従うまじめな日本のリスたち 鈴木 圭(森林総研九州)	J03-03 Urbanised landscape and microhabitat differences can influence flowering phenology and synchrony in an annual herb 勝原 光希(岡山大学)	K03-03 ズズキの河川回遊を促す淡水域の環境要因:成長に対する基礎生産力の効果 高井 万葉(東京大学)	L03-03 時系列データからの相互作用強度の推定方法:検証と修正 三木 健(龍谷大学)	M03-03 台湾のIBAにおける太陽光発電拡大と渡り性シギ・チドリ類の多様性への影響 林 大利(台湾大学)
14:45		G03-07 Cultural vitality, ecological resilience and environmental justice. A case study from Indigenous communities in the Sierra Norte de Puebla, Mexico Justyna OLKO (University of Warsaw)	H03-04 環境傾度に沿う個体群とその個体群行列モデル 島谷 健一郎(統計数理研究所)	I03-04 イトヨ野生集団における繁殖形質の季節的動態 川本 麻祐子(東京大学)	J03-04 Pre-pollination reproductive isolation mechanism among three sympatric <i>Tricyrtis</i> species in southwestern Japan. 渡部 俊太郎(鹿児島大学)	K03-04 都会のネズミほど貪食?飲食店街におけるドネズミの出現とゴミ集積方法の関連 島村 夏波(東洋大学大学院)	L03-04 位相振動子モデルによるニホンアマガエルの同期発声戦略の実験的解析 古川 温馬(京都大学)	M03-04 Modeling tree loss disturbance and protected area vulnerability in Japan: A multi-factor Random Forest Approach Amit Kumar BATAR (NIES)

Room	F (国際講義室32)	G (共南11)	H (共北25)	I (共北26)	J (共北27)	K (共北28)	L (共北31)	M (共北32)
Time		S 人と自然 / Human Dimension	植物個体群 / Plant population	動物繁殖 / Animal reproduction	植物繁殖	動物個体群	数理	景観
15:00		G03-08 長野県北部の人里周縁部で捕獲されるツキノワグマの年齢特性とその変化 黒江 美紗子 (長野県環境保全研究所)	H03-05 植物の防御形質の都市-田舎クラインの数理モデル: 自然淘汰、遺伝子流動、遺伝的浮動 三宅 康典 (東京都立大学)	I03-05 精子テロメア長から読み解くサクラマスの繁殖戦略 山本 俊昭 (日獣大)	J03-05 クズの花粉サイズは、標高・緯度・開花フェノロジーによって異なるか? 中村 結和 (東京都立大学)	K03-05 共生細菌はホストの絶滅をもたらすのか:オス殺しを伴う個体群動態モデル 堀田 淳之介 (東京都立大学)	L03-05 感染の波動は人々の活動性と流行の結合ダイナミックスによる 巖佐 庸 (九州大学)	M03-05 農地・都市景観でのクマの出没・遭遇リスクを景観連続性に基づいて予測する 広部 康太 (北海道大学)
15:15		G03-09 森林保全のためのエコツーリズムが地域社会に及ぼす影響:マダガスカル東部の事例から 増田 初希 (京都大学)	H03-06 種子の海水浮遊能力が異なる海浜植物の海流分散シミュレーションによる集団構造推定 秋本 香奈子 (お茶の水女子大学)	I03-06 内部共生性二枚貝イソナマココノワタズキン(ウロコガイ科)の繁殖生態と生活環 小柴 隆広 (近畿大学)	J03-06 ミヤマリンドウの雪解け傾度に沿った繁殖特性変異は山域間で同調しているか? 佐藤 海晴 (北大・環境科学)	K03-06 福島の放射能汚染地域における昆虫群集への ¹³⁷ Cs移行に及ぼす食性と生息環境の影響 佐山 葉 (京都大学)	L03-06 重複感染における競争を通じての寄生者の多種共存 山内 淳 (京都大学)	M03-06 里山における生態系頂点捕食者の分布動態:イヌワシを対象種に 西田 亮 (東北大学)
15:30		G03-10 干ばつへの生態系抵抗性と子どもの栄養不良:生態系機能と人間の健康をつなぐ 柿沼 薫 (東北大学)	H03-07 地理構造が花色型を定め、環境差が中の連続変化を生む:ホタルブクロを例に 張 瑞琪 (東北大学)	I03-07 電場に晒されたスギノキミドリイシの分枝形成促進 名村 有史 (高知大学)	J03-07 多年生草本ハクサンハタザオへのウイルス感染は花への資源投資を増加させる 大坪 雅 (京都大学)	K03-07 ミツバチの放射性炭素と窒素同位体は都市の大気汚染を反映する 兵藤 不二夫 (岡山大学)	L03-07 間接効果は植食者のスペシャリスト/ジェネラリストバランスはどう影響するか? 難波 利幸 (大阪公立大学)	M03-07 人口減少下でのスマート農業の普及が景観パターンと生態系サービスに及ぼす影響 石黒 平 (東京大学)
15:45		G03-11 環境DNA分析と食活動を用いた包摂的な生物多様性教育の実践と効果検証 佐賀 達矢 (神戸大学院人間発達)	H03-08 Genetic structure in plant-soil feedback leads to different successional outcomes Shiang-chi HUANG (Taiwan Univ.)	I03-08 なわばりvsスニーカー:代替繁殖戦略の時間投資ゲーム 酒井 理志 (東京都立大学)	J03-08 雌雄異株植物の結実に花粉の質的制限は生じるか? 星野 佑介 (東北大学)	K03-08 グルタミン酸の脱アミノ反応に伴う窒素同位体分別:食物網生態学への潜在的重要性 石川 尚人 (海洋研究開発機構)	L03-08 ストレス環境下の生物群集における形質応答の一般則と生態進化動態の基本定理 田中 嘉成 (上智大学)	M03-08 栃木県田んぼまわりの生き物調査データを用いた水田生態系の安定性解析 吉田 晴 (帯広畜産大学)
16:00		G03-12 京都府立植物園における日本産絶滅危惧種の生息域外保全と「植物生態園」の長期的管理 三侯 延子 (同志社大学 経済学部)	H03-09 Landscape genetics of a carnivorous pitcher plant and its arthropod metacommunity David ARMITAGE (OIST)	I03-09 The evidence that juvenile hormone regulates male dimorphism in <i>Amantis nawai</i> Zih-ting CHANG (National Taiwan University)	J03-09 近年発生したタケ・ササ類の広域開花の実態 小林 慧人 (森林総研関西)	K03-09 流域生態系の栄養バランスを診断するマルチ同位体統合モデル: リン酸酸素同位体の適用 石田 卓也 (広島大学)	L03-09 最大情報エントロピー法に基づく種個体数分布動態の数理モデル 梅村 界渡 (神戸大学)	M03-09 地すべり地が育む水辺の生物多様性・農業用ため池を通してその要因を探る- 大関 佑弥 (水辺カオス)
16:15		G03-13 Species Scapeが映し出す異なる環世界:生態学者と分類学者の生物多様性認識の断絶 林 亮太 (日本工営(株))	H03-10 Spatial and seasonal variation in eelgrass in Furen and Notsuke Bay, Hokkaido Matthew vincent Geroso TABILOG (Hokkaido Univ.)	I03-10 Which factors influence reproductive mode shifts in paedogenetic gall midges? 矢野 文士 (鹿児島大学)	J03-10 ササ属チマキザサ節における小面積開花の繁殖成功率:一齊開花と比較して 小川りさ (山形大学)	K03-10 貧栄養塩河川では動物が窒素リン循環を促進する!? 宇野 裕美 (東北大学)	L03-10 適応度関数の切り替わりに注目した個体間の闘争の進化 伊藤 公一 (同志社大学)	M03-10 衛星画像では判別できない「ちょっと深い」海域の海藻藻場分布を推定する 仲岡 雅裕 (北海道大学)
16:30		G03-14 マラウイ湖国立公園での薪利用:持続可能性の30年変遷 林 珠乃 (龍谷大学)			J03-11 マレー半島低地熱帯雨林の共存樹種における形質間関係のサイズ変化 飯田 佳子 (森林総研)	K03-11 山形県月山の樹林帯の積雪中の窒素循環 小野 誠仁 (京都大学)	L03-11 シダ植物のF統計量 - 生殖様式・空間等の影響 別所 和博 (埼玉医科大学)	M03-11 AI-Based Analysis of Changes in Homestead Woodlands in the Tonami Plain, Toyama, Japan 川東 夏子 (京都大学)
16:45		G03-15 市民の報告に見る哺乳類の動態:10年間のロードキル記録 1万件の社会・生態学的分析 神宮 翔真 (森林総合研究所)				K03-12 国・都道府県単位で見た未利用肥料資源の賦存量とその農業での再利用 三島 慎一郎 (農研機構)	L03-12 近くにいる相手としか交尾しない集団ではセクシな息子は生き残れるか? 佐藤 一憲 (静岡大学)	M03-12 海外との協働で展開する環境教育 畠田 彩 (京都外国语大学)